



和歌山県
ため池サポートセンター



Q&A

ため池管理者からの現地相談対応

ため池の取水施設の不具合と補修対策



Q1

近年、ため池の水が斜樋の樋管から勢いよく流出している状態となり、斜樋の前にあるボックスに土嚢3袋程度を積んで踏み固めると流出は少し改善された。止水するためには、どのようにすれば良いか教えてほしい。

A1

サポートセンターが同行して現地確認を行い、ため池の水位を下げて斜樋の点検を試みてはどうかと指導し、その結果、斜樋のスピンダルを止めているボルトが緩みスピンダルがズレていたことが判明。このため、開度計で全閉になっていても樋が開いた状態になっていて、漏水が発生していた。ボルトを交換して締め直したことから、問題が解決できた。



【現地確認状況】



【現地確認状況】



【斜樋管出口】



【斜樋スピンダル】

ため池の漏水状況と補修対策



Q2

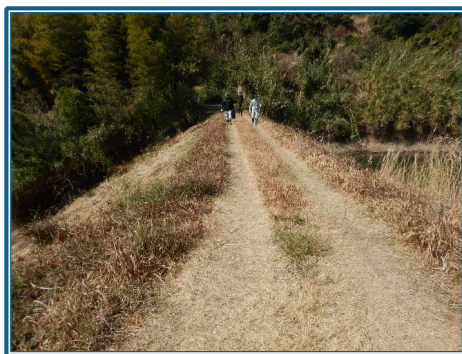
約60年前にため池が決壊し、改修工事によりため池を大きくした。その後も二度堤体が崩れ、直近では10年ほど前に崩れたため災害復旧で直してもらった。現在底樋のヒューム管が途中で折れたみたいで、石積みから水が出ている状態なので、調査をお願いしたい。

A2

ファイバースコープカメラを使用して現地調査を実施し、底樋管の継ぎ目で段差が生じていることを確認した。石積みからの漏水は、この段差が原因であると思われる。また、堤体を目視で調査したところ、底樋の出口付近の大きな穴が確認されたことから、当該変状を改善するための対策工事等について、役場や県との調整を指導した。



【ため池貯水状況】



【堤体目視確認】



【底樋管の段差】



【底樋出口の穴】

ため池の堤体異常の現場確認



Q3

土地改良区で管理しているため池の堤体上流法面が浸食されているが、このままで良いのでしょうか？
また、何か良い対処方法がありますか？

A3

堤体の上流側の法面が、全体的に浸食されオーバーハングの状態となっている。このまま放置しておくとも波浪により、侵食が進行して危険な状態となると考えられることから、張ブロック等による法面保護を行うための補助事業の紹介と低水管理を指導した。



【堤体上流法面の浸食状況】



【堤体上流法面の浸食状況】



【堤体上流法面の浸食状況】



【ため池下流状況】

Q4

「ため池に生えている蒲（ガマ）の種子が飛び散り洗濯物に付着するので、どうにかなりませんか」との相談がため池付近の住民からきているのですが、焼却で対処する訳にも行かないため何か良い対処方法はないでしょうか？

A4

今回相談を頂いた蒲の駆除方法については、（一社）全国農業改良普及支援協会の「みんなの農業広場」に除草剤のラウンドアップを使用した方法が記載されていたことを参考紹介。（事例は農地でありため池では無い）
但し、除草剤を使用して駆除する場合は、多方面にも影響が出ないように専門家に十分相談をされた上で対策を行うことを回答致しました。



【ため池の状況】



【ため池の状況】



【蒲（ガマ）繁茂状況】



【蒲（ガマ）繁茂状況】

ため池の廃止検討



Q5

令和4年度の劣化状況調査の結果、堤体下流のり裾から漏水が確認された。その後令和6年度に市役所に現地確認を行って貰った際には、堤内の法面コンクリートが壊れ法面がえぐられている状態となっており、年々範囲が広がってきており、このままでは下流に被害が及ぶかもしれないためどうすれば良いか相談したい。
現在、ため池は低水管理を行いながら経緯観察をしている状態である。

A5

相談を受けて県・市役所職員の同行により現地確認を行ったところ、水深約50cmと底樋の高さまで下げているにも関わらず、堤体下流のり裾からは延長10mの区間において数カ所の漏水が確認された。経年劣化による漏水箇所も増加し、法面崩壊も進行して大変危険な状態と推測される。池の水を使用することが無いことから、廃止工事の手続きを進めることを提案。実施までの期間においては、簡易補修（土嚢や板柵による補修）による対処方法の指導を行った。



【現地確認の状況】



【ため池低水管理】



【法面コンクリート破損】



【法面がえぐられている】